

一 争議發生ノ場所 大妻區大森七丁目 三三九番地
二 事業主側

名 稱 日本ハノヴィア石炭燈株式會社
代表者 社長 イー、エル、カンニングハム(米國人)
資本金 貳拾五萬圓(金額拂込)
事業ノ種類 医療器械製作
使用勞働者 男工貳拾四名

三 勞働者側

争議參加者 貳拾四名

争議參加者中勞働組合其ノ他団体加入者及應援団体ナシ

四 争議發生ノ時

十一月十九日

五 争議解決ノ時

十一月二十五日

六 争議發生ノ原因

標記會社ハ外人資本ヲ火テ大正十五年六月創立シ医療器ノ部分品ヲ独米兩國ヨリ輸入シ之ヲ組立製作シ日本内地並中華民國等ニ販路ヲ有シ事業成績良好ナリシガ客年末米國品ニ壓倒ナレ事業不振トナリ従業員側ハ之ニ不安ヲ感シ対策協議ノ結果客月十五日職工代表トシテ寺田善二郎外三名連署ニテ一ヶ月勤績者ニ日給ノ一ヶ月十年ニ対シ同十三ヶ月分ヲ内容トスル退職手当試案ヲ會社ニ嘆願シタルニ工場長梅原親哉ハ不穩行動ナリト難詰シタル尙ノ双方口論シ梅原工場長ヨリ解職後要的言動アリタル尙、右四名ハ翌十六日退職願ヲ提出シタルニ會社側ハ十八日別記(一)ノ工場就業規則ヲ發表シタルニ職工側ハ対策協議ノ結果別記(二)ノ工場就業規則及寺田外三名ノ解雇及對ノ嘆願書ヲ提出シ十九日ヨリ全負罷業シタルニ因ル